



2025年7月2日 発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。のどが渇いていなくても水分をこまめに取りましょう。体調管理にも気をつけながら、涼しい期間中は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

《 6月の感染症情報 》

RSウイルス感染症 … 1名
インフルエンザ … 1名
伝染性紅斑（リンゴ病）… 1名

虫刺され

乳幼児が蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。時間が経つにつれ、赤く腫れたり、水ぼうがでたりし、腫れる場合も大人よりも大きく腫れあがります。これは、虫刺されの経験が少ないために起こる激しい炎症反応です。

虫刺されの手当て

1. 水でよく洗い流す
2. 虫刺されの薬をつける
(刺されて30分以内につけるのが効果的)
3. かゆみや腫れがひどい時は、冷やす
4. 爪を短く切る(とびひの予防)

- ・かゆみが強く、腫れが続く、ただれてくるなどの場合は、皮膚科を受診してください。
- ・かかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することや、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまうので、十分に気を付けましょう。

歯科検診結果

歯科検診は、むし歯や歯垢の有無、顎関節や歯列・咬合、歯肉の状態を確認しています。

健康 : 治療を要する歯は無し。歯垢はほとんどなし。顎関節・歯列・咬合・歯肉の状態ともに異常がない状態。

要注意 : むし歯になりそうな歯がある、または歯垢の付着が歯面の1/3以下、または顎関節・歯列・咬合・歯肉のどれかの継続した観察が必要な状態。

要受診 : 治療を要する歯がある、または歯垢が歯面の1/3以上、または顎関節・歯列・咬合・歯肉のどれかに精密検査が必要な状態。

	健康	要注意	要受診	未受診
りす組	9	0	0	0
うさぎ組	12	5	0	1
こぐま組	5	11	0	4
ぱんだ組	1	19	10	0
きりん組	5	13	8	2
ぞう組	1	16	5	0

園での健診はスクリーニングですので、(人)
受診先で確定診断をしてもらってください

熱 中 症

熱中症対策 子どもは体温の調整機能が未発達で、体に熱がこもって体温が上昇しやすくなります。また、身長が低く、地面からの照り返しの影響を強く受けるため、大人よりも高温の環境下にさらされています。子ども自身が体調の変化に気づかないことや、伝えられないこともあるため、周囲の大人が顔色や汗のかき方などに気を配る必要があります。

予防のポイント

- ・気温と湿度をこまめにチェック。暑さ指数や熱中症警戒アラートも参考に。
- ・エアコンや扇風機を適切に使う。
- ・のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給する。
- ・通気性の良い服装で、帽子など日よけ対策も。
- ・無理をせず、適度に休憩する。十分な睡眠とお食事をする
- ・短時間であっても絶対に車内を子どもだけにしない。降ろし忘れにも注意。

応急処置

- ・呼びかけに答えない場合は、すぐに救急車を呼ぶ
- ・涼しい場所へ移動し、衣類を緩め、安静に寝かせる。
- ・水分や塩分を補給する。
- ・首の周り、脇の下、太ももの付け根など太い血管の部位を冷やす。



「消費者庁 子どもの事故防止ポータル」より